

千葉大学医学部附属病院で川崎病巨大冠動脈瘤の治療を受けた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年6月7日

小児科

小児科では、「川崎病巨大冠動脈瘤合併患者の治療と予後に関する研究」を行っており、以下に示す方の診療記録等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

1999年1月1日～2024年5月31日の間に小児科で川崎病巨大冠動脈瘤と診断されて治療を受けた方

1. 研究課題名

「川崎病巨大冠動脈瘤合併患者の治療と予後に関する研究」

2. 研究期間

2024年承認日～2029年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

川崎病は小児期に起こる原因不明の血管の炎症を主体とする病気です。重大な合併症として心臓を栄養する血管（冠動脈）にコブ（冠動脈瘤）ができることがあり、コブが消えずに残る人がいます。なかでも直径8mmを超えるものを巨大冠動脈瘤と呼び、心臓を栄養する血管が詰まって心臓の筋肉への血液の供給が途絶える心筋梗塞や狭心症という生命にかかわる状態になることがあります。そのため長期にわたり、血液を固まりにくくする薬を使う必要があります。

この研究では、千葉大学医学部附属病院における多くの川崎病巨大冠動脈瘤合併患者さんの診療記録を検討することによってより効果的な管理を明らかにすることを目的としています。

4. 研究に用いる情報の種類

診療記録に記載されている年齢、性別、病歴、治療内容、冠動脈瘤の形・場所、血液検査値、心臓血管病の罹病、転帰

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：小児科教授 濱田 洋通

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部本館 11 階小児病態学において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

小児科 奥主健太郎

043（222）7171 内線5364